

子どもが主役の学校

～本物から学ぶ教育～



板橋区立志村第三小学校 校長 福井 みどり

「**子どもが主役**」の学校づくりを目指す。キーワード「責任」「信頼」「誇り」
～全ての判断基準の第一は子どもです。子どもにとって良いと思うことは積極的に取り組みます。～

子どもが主役の学校

子ども一人一人の「生きる力」を育む質の高い授業を実現する。地域とともに子どもを育てる学校を推進する。

行動目標

・いじめ〇、不登校〇

地域に開かれ・根ざした学校

地域と学校の**信頼**関係、保護者と地域の**信頼**関係を築き、それぞれに**責任**を果たしながら、地域に親しみをもち、人との関わり合いを大切にできる子を育てる。学校を中心に互いに**信頼**関係を構築することで、この志三小地域で暮らすことへの**誇り**をもてるようにする。

東京都教育ビジョン 基本理念

東京都教育委員会

社会全体で子供の「知」「徳」「体」を育み、グローバル化の進展など変化の激しい時代における、自ら学び考え行動する力や社会の発展に主体的に貢献する力を培う。

※オリンピック・パラリンピック教育の継承（多様性を尊重する。）

板橋区教育ビジョン2025 目指す将来像

持続可能な社会を実現するには、基礎的な学力のうえに、人とのつながりや支え合い等を通して得られる、実生活の様々な場面で活用できる力が必要です。また、地域の人たちが子どもたちの人づくりのために学校に集まり、そこに集まった人たちが地域を活性化させていくといった好循環が重要となってきました。

このことから、2つのめざす将来像を掲げました。

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える教育の板橋

“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る教育の板橋

本校の学校教育目標

○健康で明るい子

→諦めない強い心とやり遂げる体力のある子

自他の命を大切にする子 健康のため自己管理ができる子

○なかよく助け合う子

→自分に自信をもち、自己抑制ができ、思いやりのある子

いじめ・暴力を許さない 思いやり勇気のある子

○考えて行動する子

→基礎・基本を身に付け、見通しをもって意欲的に学習に取り組む子

分かる、できる、定着する、楽しい学び 本物から学ぶ 学びを生かせる子

○進んで働く子

→自分の役割に積極的に取り組み、達成する子

他の幸せを自分の幸せにできる子

教職員の基本姿勢 「子どもが主役の学校」

○保護者と共に、児童の成長を喜び合う。明るさ温かさを根底にしながら、指導すべき点は明確に伝わるよう、身に付くよう温かく寄り添って指導する。（体罰・暴言はあってはならない。）

○子どもの思いを受け止め、良いことと悪いこととを明確に教える。勇気づける指導を進める。

○特別支援教育への理解を進め、一人一人の良さを伸ばし、考える・分かる・できる喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研究・研修に努める。

○保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい学習環境・居場所を創造する。

○いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育の徹底に努める。（呼名・言葉遣い）

○教師自身が児童の手本となる。明るく温かく笑顔で。

○健康で明るい子

「共遊び」の推進

①体力向上

- ・体育の授業の充実
年間計画の充実や専門家を招いての授業
教師の校内研修
- ・年間を通した計画的な体力づくり
短なわ跳び月間等
チャレンジすることを楽しむ

②自己管理

- ・「早寝・早起き・朝ご飯・運動」
基本的生活習慣の定着
- ・ソーシャルスキルトレーニング（社会性）
- ・ストレスマネジメント（気分のコントロール）
- ・安心・安全の知識「自分の身は自分で守る」
- ・SNS等のかかわり方 セーフティ教室等

数値目標：朝は自分で起きている子、朝ご飯を毎日食べている子 85%

③健康・保健への意識

- ・食育推進 学校給食との連携・食物の栽培や出前授業など体験的な学習

⇒ **本物から学ぶ**

- ・心と体、自他の命を大切に学習

○なかよく助け合う子

①いじめ・暴力を許さない。

- ・いじめを生まない関係作り
- ・言葉遣いは心遣い
- ・ふれあい月間アンケート
- ・QU アンケートの活用
→意欲の向上・自己肯定感の向上を目指す
児童のサインを見逃さない
学校生活・社会の約束を守る。自分たちで課題に気付くルールを守る。

②思いやり勇気のある子

- ・自己肯定感を高める指導、支援。
- ・どの子にも出番のある、主体性を引き出す
- ・達成感のある行事

③仲間と共に助け合える子

- 困っている友達に、優しく接することができる。
道徳教育・特別活動の充実
よりよく生きるための実践につなげる道徳

数値目標：友達を助ける、仲良くする 80%

○進んで働く子

- ・他の喜びを自分の喜びにできる子

当番活動・委員会活動「みんなのためになる、学校が楽しくなる工夫」

環境美化 清掃・後片付け（ゴミを拾う、靴をそろえる、傘立てをきれいにするなど）

言われてやるのではなく、進んでやる「自主性」を校風にまでしていく。

○考えて行動する子

本物から学ぶ教育へ

①板橋区 授業スタンダード

分かる、出来る、定着する

楽しい授業の展開

- ・学校生活の中心は授業⇒楽しく、よく分かることによって、基礎・基本が身に付き、学習意欲が高まり、課題解決能力も高まる。
- ・学び方を学ぶ⇒見方・考え方・調べ方・ノート指導等タブレットを文房具のように使い学習する力
- ・知的好奇心を高める働きかけ

⇒ **本物との出会い**

ICTを活用（タブレットのフル活用）

②「読み解く力」の向上

- ・MIM RST（リーディングスキルテスト）の活用
- ・校内研究のテーマ
「自分の考えをもち伝え合うことができる児童の育成」
～国語科 物語文の読みを通して～

③話し合い活動の充実

- ・意見交流の時間の設定
小グループによる話し合いを設定
- ・多様な見方・考え方を大切にする。
根拠をもって対話や話し合いを重ねる
⇒思考力判断力表現力を高める

④外部や地域の講師と連携した体験的な授業（本物との出会い）

豊かな体験は、豊かな心を育み、子どもたちに学ぶ意欲や追究する力を育てる。本校では**本物との出会い**を大切に、**体験的な授業の充実**を行う。

⑤環境教育の充実

「持続可能な社会のつくり手の育成」を目指し、SDGs・ESD・環境教育の充実を図る。

数値目標：好きな教科や授業がある子 80%

学習指導は、生活指導の基本である。子どもたちが主体的に生き生きと活動する授業を進めていく。

<特別支援教育の充実>

ユニバーサルデザインの視点にたった環境作り
教室掲示、ICTの活用で子供の特質を考慮する
実態把握・相談体制づくり

<ステップアップ教室 拠点校>

- ・4校（志一小、志二小、志三小、加賀小）における特別支援教育の充実
- ・在籍学級で生きる指導の充実

<きこえとことばの教室>

- ・一人一人の児童の課題に合わせた個別指導の充実
- ・読み書きする力の向上
- ・在籍学級との連携

<学びのエリア>

志村第一中学校、志村第一小学校、志村第三小学校、富士見台小学校で9年間を見通した一貫した知・徳・体の育成
近隣幼稚園保育園との連携 幼保小連携